

ふくふる

JA福井県を
目一杯=FULLに
お届け

ふくいがんばる 生産者

永吉 研太さん



SNS・cookpadで旬な情報を投稿しています。



Instagram



Facebook



cookpad



No.016
2021.08

理事会報告 ●とき/令和3年6月25日(金) ●ところ/本店9階 大ホール

◆附議事項◆

- 第1号議案 第三者委員会の答申について
- 第2号議案 県常例検査結果に対する改善状況報告について
- 第3号議案 令和2年度業務報告書及び連結業務報告書について
- 第4号議案 令和3年度建設委員会の委員について
- 第5号議案 出資口数の減少について
- 第6号議案 令和3年度夏季賞与支給について
- 第7号議案 「金融機関に対する資金の貸付条件」の廃止について
- 第8号議案 信用供与等(金融機関貸付)について
- 第9号議案 令和3年度余裕金運用方針の一部変更について

上記附議事項は可決承認されました。

監事会報告 ●とき/令和3年6月10日(木) ●ところ/本店3階 会議室

◆協議事項◆

- 第1号議案 会計監査人の監査報酬の同意について
- 第2号議案 令和2年度決算監事監査報告書について
- 第3号議案 6月末棚卸監事監査について
- 第4号議案 7月重点監査について
- 第5号議案 代表理事と監事の意見交換会について

上記協議事項は可決承認されました。

監事会報告 ●とき/令和3年6月25日(金) ●ところ/本店3階 会議室

◆協議事項◆

- 第1号議案 県常例検査結果に対する改善状況報告及び監事意見書について

上記協議事項は可決承認されました。



Contents

No.016 2021.08

- 02 ふくいでがんばる生産者
永吉研太さん
- 04 今月のトピックス
- 05 あぐラジ放送中!
- 06 福井県からのお知らせ
- 07 健康ライフ
- 08 地域探訪
奥越基幹支店
「ネギ集出荷施設」
- 10 家庭菜園・今月のレシピ
- 11 ふくメール・クロスワード

表紙紹介

ながよし けんた

永吉 研太 さん (福井市清水地区)

福井の土地と生まれた作物に惹かれて新規就農を選んだ永吉さん。
収穫の喜びと収入のある園芸作物を品目として選び、圃場で汗を流しています。



通年売れる栽培品目選びがカギ。 作物が次の計画を教えてください

適期収穫のベストな野菜を 適正価格で市場に出したい

永吉さんは越前レタスを栽培する若手農業者です。レタスの基幹防除の回数を少なくして、その分販売価格を抑える戦略ですが、防除と出荷のタイミングが難しい作物でもあります。

「適期収穫を心がけています。水分のバランス、葉のつまり具合、1日、半日の遅れが鮮度に関わりますから」と永吉さん。朝4時に収穫し、選別して9時には出荷場へ向かいます。

レタスが終われば、スイートコーン、キャベツ、白菜、と間をあけない栽培計画なのは「年間通して収入を得るため」。9月は彼岸の菊なども栽培しています。



失敗は成功のもと この地でやって考える

県外から福井へ移り新規就農して5年目の永吉さん。きっかけは「耕作放棄地を見てもったいないという気持ちがあったこと。義母の育てたトウモロコシがおいしかったこと」。就農後は「習うより慣れる」の勢いで「失敗経験をしたほうが早く身に付けられる」と必死な日々でした。

「資格もいらない、勉強しなくていい、自由が利く、と思っただけで入った世界でしたが、実際は頭も使うし計算もしますね（笑）」。

1年目のレタスは惨敗。品目を増やし面積を広げないと収入にならないことに気づき、農家組合長さんに何度も相談をしたそうです。

「がんばっても時は戻せない。失敗したら次に計画が見える。振り返りが次の1年を作る」とモチベーションを高く保っています。

初めての農業で収入の見えない中、不安はなかったのでしょうか？「清水地区には若手農家7、8軒あって、指導員さんたちが各農家に合わせた園芸プランを出してくれました。私もそれをみて品目を選び栽培計画を立てて始めました」。新規就農に対して国や県からのバックアップも支えとなり続けられたそうです。



レタスは高原野菜。その土地に近い丹生管内でかつ小高い場所の圃場で育てています。



地場産品目の認知アップが 継続できる農業の一步になる

永吉さんが農政にのぞむことは「若手農家の増加とともっと農業をやりやすくしてほしい」こと。また特産品のニュースイートや越前レタスについて「知らない人もいるのでJAは定着への努力をしてほしい」。地場産の作物が県域に広まることを望んでいます。



緑肥に挑戦中。土起こし、肥料のやり方、除草管理も自身で勉強。

栽培品目：レタス、キャベツ、白菜、スイートコーン、ブロッコリー、スナップエンドウ、エンドウ豆、彼岸菊、ほか

栽培面積：約2ha



議長の林清一郎総代



JA富田勇一組合長が挨拶



第2回通常総代会のようす

第2回通常総代会開催

当JAは、6月27日、第2回通常総代会を福井県産業会館で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場入り口で、アルコール消毒や検温を行い、また、会場の換気など対策を徹底して実施。

総代会には、890名の総代のうち委任状出席、書面議決を含めた786名の総代が出席。議長には、坂井基幹支店管内の林清一郎総代が選出され、議事に入りました。

令和2年度の事業報告や令和3年度の事業計画など、事務局からの説明のあと、質疑応答が行われ、8議案について審議を行い、全議案原案通り可決決定されました。

総代会に提出・承認された議案

- 第1号** 令和2年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号** 令和3年度事業計画の設定について
- 第3号** 定款の一部変更について
- 第4号** 共済規定の一部変更について
- 第5号** 令和3年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
- 第6号** 令和3年度における理事の報酬について
- 第7号** 令和3年度における監事の報酬について
- 第8号** 令和3年度における福井米等と民間流通麦の売り渡し事務と検査売り渡し等の事務委託及び令和3年度米麦販売に係る共同計算について



越の宝石をアピールするJA職員

越の宝石

本格販売

6月5日、直売所専用ブランドミディトマトである「越の宝石（じゅえりー）」の販売が、県内の各JA農産物直売所で始まりました。

越の宝石は、福井県園芸研究センターが開発した新しい品種のミディトマトで、一般的なものと比べても糖度が高く、オレンジと黄色のカラフルな色合いが特徴です。JA農産物直売所のさらなる活性化に向けて、農産物直売所限定商品として発売します。

今年、JA福井県内では生産者30人が、合計10アールの面積で栽培しています。8月頃まで約5トンの出荷を見込んでいます。

販売するJAの農産物直売所一覧

喜ね舎 愛菜館、もぎたて館、れんげの里、きららの丘、ゆりいち、丹生膳野菜、旬・ときめき広場
(一部のAコープ内直売売場でも販売)

ガメムシ等防除の

要請書を提出



▲西日本旅客鉄道(株)福井地域鉄道部へ要請書を手渡す農政連北島会長㊦



◀えちぜん鉄道(株)へ除草管理を要請するJAの齊藤常務㊦

6月10日、福井県農政連は、JA福井県中央会やJA福井県とともに、各公共交通機関に対して、ガメムシ等の防除に関する要請書を提出しました。例年、カメムシ等の病害虫による斑点米の発生が品質低下の要因になっており、各地域では対策として、6月中旬から農地周辺の除草を行っています。鉄道沿線の用地等は各公共交通機関の管理となっているため、毎年、除草管理の徹底をお願いしています。

この日、福井県農政連の北島友嗣会長、高志支部の青山多実雄支部長、今立支部の小椋昇支部長、当JA営農販売担当の齊藤康浩常務など関係者が参加。えちぜん鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、国土交通省近畿地方整備局、福井鉄道(株)を訪れ、7月上旬までの草刈りの協力を要請しました。



すべての人に健康と福祉を



飢餓をゼロ



貧困をなくそう



圃場に丁寧に粟の種をまく奉耕者ら

9月上旬に抜穂式が開かれる予定です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を中止し、神事だけを実施しました。
この日、奉耕者をはじめ、当JAの富田勇組合長、早乙女らが粟の種をまき、豊作を願いました。富田組合長は「松浦さんは丘陵地の農業発展に尽力された。献穀まで苦労が多いと思うが、無事大役を果たしていただけると期待する」と挨拶。松浦さんは「関係各位の協力のもと播種を終えられた。実りの秋を迎えられるよう奉耕に努めたい」と謝辞を述べました。

毎年宮中で開かれる「新嘗(にいなめ)祭」に供える献穀粟の播種式が、6月12日、坂井市三国町の圃場で開かれました。今年は福井県を代表して、同町の松浦悦治さんが奉耕者として選ばれました。坂井市からの献穀粟は14年ぶりです。



6月1日 いちほまれの日



いちほまれの日をPRする喜ね舎 愛菜館の林所長

いちほまれのおいしさを県民により広く知ってもらい、消費拡大に繋げようと、毎月1日を「いちほまれの日」と設定。それを記念したイベントが各直売所・Aコープで開かれ、そのようすが放送されました。ラジオでは、農産物直売所「喜ね舎 愛菜館」の林智弘所長が出演し、イベントの内容やいちほまれについて説明しました。

農業を意味する「アグリカルチャー」と「ラジオ」を合わせて『あぐらジ』



FBCラジオで放送中!

農産物やJAの魅力ある“あぐり”情報をお届けします。

6月22日 福井梅&メロン



中川さん(左から3番目)と高橋主任(左から2番目)



上出部会長(左から3番目)と宮崎さん(左から2番目)

「福井梅」では、生産者の中川文雄さんが福井梅の歴史や品種について、JA園芸特産部直売加工課の高橋亘主任が福井梅を使った加工品について紹介しました。「メロン」では、JA坂井地区園芸組織協議会メロン専門部会の上出儀作部会長とJA坂井園芸センター園芸振興課の宮崎奈緒美さんがメロンの品種や栽培について説明していました。

第2・第4火曜日「良ーいドン!!!」の中で放送(AM10:35~10:50)

聴き逃した方は、スマートフォンやパソコンで聴ける無料のサービス『radiko(ラジコ)』をご利用ください。
(1週間以内に放送された番組が聴けます)



田んぼダムの紹介

県からのお知らせ

田んぼダムとは…

豪雨時、雨水を田んぼへ一時貯留し、その後ゆっくりと時間をかけて排出することで、河川や水路の水位が急上昇することを抑制し、洪水被害を軽減するための取り組みです。



流量調整板（立板式）取付状況

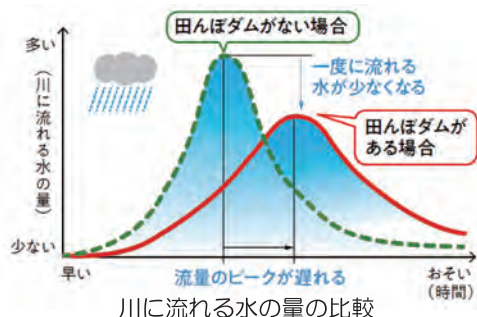
流量調整板取付前

流量調整板取付後



流量調整板取付前後の排水

排水口に流量調整板を設置する方式の場合、ピーク時の流量が約70%カットされるというデータもあります。



福井県の田んぼダム取組状況

福井県では、63集落、約1,500haの田んぼで田んぼダムが取り組まれています。また、鯖江市川去町で田んぼダムの効果を検証しています。

関係市町	関係集落	取組面積
福井市	5集落	100ha
鯖江市	46集落	1,324ha
越前市	11集落	127ha
若狭町	1集落	4ha

スマート田んぼダム実証事業

自動給排水栓とICTの導入により、豪雨時の事前落水・一斉貯留・流出制限を行い、その効果と管理労力の縮減等について検証を行っています。



お問合せ 福井県農林水産部農村振興課
TEL: 0776-20-0453

出典：農林水産省ホームページ
福井県/福井県多面的機能発揮推進協議会作成パンフレット

あなたも 食品ロス削減でSDGsを実践しよう!!

家の光 9月号 JA女性組織学習企画

家庭でできる! みんなでできる!
食品ロスを減らすワザ

『家の光』9月号を読んで、
★ムダをつくらず ★ムダを省き ★ムダを有効活用!

すぐ"に取り組める
「食品ロス削減ワザ」
を紹介します

家の光 9月号 922円(税込) お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

Health Life 健康ライフ

体操編
Vol.2
(5回シリーズ)



JA福井県厚生連
理学療法士
山 浩志

JAおたっしや体操～フレイル予防のために～

前回から5回シリーズで始まった体操編の第2回は「もも上げ」と「かかと上げ」の体操を紹介します。「もも上げ」は体幹を鍛え、体の安定性を高めることができます。「かかと上げ」はふくらはぎを鍛えます。ふくらはぎの筋肉は、第2の心臓と呼ばれ、血液を心臓に戻すためのポンプの役割をしています。この筋肉が低下すると血流の低下やむくみの原因になります。体操を継続することで、歩いたり、座ったりなどの日常動作に必要な筋肉を維持・向上させましょう。

～もも上げ～

- ①足を肩幅程度に開く。
- ②4秒かけてももを上げる。
・足を上げる際は腰を丸めな
いよう、ひざが外側に開か
ないようまっすぐ上げる。
- ③4秒かけてゆっくり戻す。



～かかと上げ～

- ①足を肩幅程度に開く。
- ②4秒かけてかかとを上げ、上げた
まま3秒間キープする。
・ふくらはぎを意識する。
- ③4秒かけてゆっくり戻す。



室内外での気温や湿度が高くなる時期ですので、水分補給を行いましょう。
また体調がよくない場合は体操を控えましょう。



JAからのお知らせ

ホームページに 営農指導情報掲載中!!

JA福井県は、パソコンやスマートフォンを通じて、生育状況や栽培管理方法などの情報をいち早く生産者に伝え、栽培品目の品質向上に繋げてもらおうと、JAのホームページ上に「営農指導情報ページ」を新設しました。

福井地区・坂井地区・奥越地区・丹南地区・丹生地区・敦賀美方地区・若狭地区の7地区ごとに、担当のJA職員が水稻をはじめとした生育調査結果や営農指導情報などを、随時発信していきますので、栽培管理にお役立て下さい。



いつでも!

どこでも!



JA福井県のHP (<https://www.ja-fukuiken.or.jp/>)



奥越基幹支店 「ネギ集出荷施設」

約10年前に、奥越管内のネギの生産を増やそうと機械を導入し一新した施設です。年間を通じた栽培計画のため、通年の出荷体制を整えるための集出荷場です。

奥越管内で栽培されているネギは、越冬ネギ（白ネギ、青ネギ）と夏秋ネギ（白ネギ、青ネギ、長ネギ）で年間を通じ、ほとんどの時期で収穫ができます。どちらも甘くて柔らかい品種です。

雪深い奥越ならではの品目である越冬ネギは、その名の通り雪の下で冬を越します。

「降雪によりネギの生育が一時的に止まりますが、これが作物にいい影響を与えます。雪で折れても春になれば立ち上がる。この生命力には驚きますよ」と話すのは、施設を担当する森永検査員。異常気象による近年の雨量や天候の悩みもあるようです。

ネギは病気にも強く害虫対策もしっかりとれるため作りやすいことから栽培が広がりました。一方で皮

をむき、長さや大きさを揃える調整作業に一苦労する作物。しかし、どの生産者もこうした作業に努力を惜しまず出荷されています。また、市場での高い評価は厳しい検査にもあります。

「検査時に等級落ちが発生した時はその場で生産者に伝えるようにしています。生産者と実際の生育状況の話ができ、次に向けた前向きな話になります」。

現場でのコミュニケーションが品質を維持する秘けつの一つでもありました。



ネギ

- 越冬ネギ（白ネギ、青ネギ）
4月中旬～5月下旬
 - 夏秋ネギ（白ネギ、青ネギ、長ネギ）
6月下旬～12月下旬
- （令和3年度計画）
出荷量：約437トン
販売高：1億7,700万円



パートナーシップで
目標を達成しよう



平和と公正を
すべての人に



陸の豊かさ
も守ろう



海の豊かさ
を守ろう

夏は暑くなるので
品質管理に気を付けて
選別しています。



入荷した白ネギは2箱1セットにして出荷します。規格、等級をしっかりと確認します。



施設稼働時間に合わせて生産者が次々と持込。

奥越管内では、水稻とサトイモのあいだにネギを出荷して通年収入を得ている農家さんが多いそう。



最大4ライン、1日4000箱を処理できる検査体制を備えています。S、M、L、2Lと4サイズあり、1本の重さ、軟白部の長さ、1束の本数など細かな指定があります。



出荷！



関西、中京、福井県内の市場へ送り出されます。

「越前青ネギ」の名前で市場へ



あなたも
チャレンジ

家庭菜園

シュンギク 収穫後に花も楽しもう

園芸研究家 ● 成松次郎



シュンギクの生育適温は15〜20度と冷涼な気候を好み、春(3〜6月)と秋(9〜11月)が栽培適期です。カロテンの含量が多く、ビタミンC、カルシウム、鉄分なども豊富です。

【品種】シュンギクの種類は、葉の大きさや切れ込み方により、大葉種、中葉種、小葉種に大別されます。大葉種は葉が大きく、切れ込みは浅く、えぐ味が少なく、「おたふく春菊」(中原採種場)、「菊之助」(タキイ種苗)などがあります。中葉種は切れ込みがあり香りが強い品種で、株立ち型では、「さとゆたか」(サカタのタネ)、「きわめ中葉春菊」(タキイ種苗)など、株張り型では、「菊次郎」(タキイ種苗)などがあります。

【畑の準備】種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、深く耕しておきます。1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)100gと完熟堆肥1〜2kgを散布して土と混ぜ(図1)、ベッド幅1〜1.2mとし、高さ5cm程度の平畝を作ります。

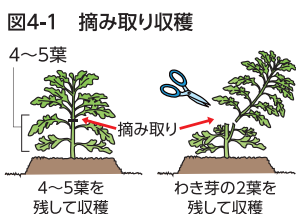
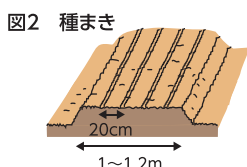
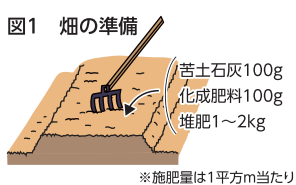
【種まき】条間20cm、深さ5mm程度の浅いまき溝を4条切り、1cm間隔で種まきします(図2)。好光性種子のため、覆土はごく薄く掛けます。種まき後、十分に灌水(かんすい)し、発芽まで乾燥させないこと。また、幼苗を保護するために不織布をべた掛けすると良いでしょう。

【間引き・追肥】発芽後、本葉2枚までに3〜4cm間隔に間引き、株元に軽く土寄せします。この後、本葉5〜6枚の頃に、10〜15cm間隔に間引き、1平方m当たり化成肥料50gを株元にばらまき、土寄せします(図3)。

【収穫】中葉種の株立ち型は、草丈が25〜30cm程度になったら、葉4〜5枚を残し、摘み取り収穫します。以後、伸びてきたわき芽の葉を2枚残して切り取ります(図4-1)。株張り型と大葉種では、草丈が20〜25cm程度に育ってきたら、株ごと抜き取るか、株元から刈り取って収穫します(図4-2)。なお、春に咲く黄色い花は美しいので、株を残しておきましょう。

【摘み取り収穫】4〜5葉を残して収穫。わき芽の2葉を残して収穫。

2回に分けて間引きをし、最後は株間を10〜15cmにする



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

今月のレシピ

トマトをたっぷりすりおろし、かつおと昆布のだしを合わせました。1日にとりたい食物繊維の約1/2を補給できる腸活レシピです♪

「越前レタス」秋の出荷は、10月中旬〜11月下旬ごろの予定です。

福井県産大麦粉・そば粉を使った「麦とろそば」は、県内Aコープ、直売所、JAタウンにて販売しています。



材料 (4人分)

- ・米油 大さじ2
- ・麦とろそば 2袋(180g×2)
- ・レタス 1/2玉
- ・うす揚げ 1枚
- ・玉ねぎ(うす切り) 1個
- ・豚モモ薄切り肉(細切り) 200g
- ・トマト 2個
- ・しょうがすりおろし 1片
- ・にんにくすりおろし 1片
- ・だし汁 600cc
- しょうゆ 大さじ1
- みりん 大さじ1
- ・好みのカレールー 3片

一人分の栄養価	エネルギー 641kcal	炭水化物 84.3g
	タンパク質 27.6g	食塩相当量 3.3g
	脂質 21.2g	

・野菜は、熱めのお湯(40〜45℃)でさっと洗うことで、水分が再吸収され、えぐみや苦みが減り、うま味が引き出されます。少し日が経った野菜で試してみると効果てきめんです。

和カレーつけ麺

作り方

- ①レタスはさっと洗い、せん切りにして水切りする。
- ②うす揚げは油抜きし、細切りにする。
- ③鍋に米油、★を入れて中火にかけ、香りが立ったら豚肉を加えて炒める。
- ④肉の色が変わったら、玉ねぎを加えて強火にし、半透明になるまで炒める。
- ⑤トマトをすりおろして加え、10分ほど煮て酸味を飛ばす。
- ⑥●とうす揚げを加え、煮立ったらルーを溶き、程よいとろみがつくまで煮詰める。
- ⑦沸騰したたっぷりの湯で、麦とろそばを3分ゆで、流水で締めてざるに上げ、水を切る。
- ⑧そばとレタスを合わせて器に盛り、熱々のつけだれを添える。





ふくメール 読者からの声



毎月1日いちほまれの日、横浜の娘に贈ったら、友達や職場の人に分けてあげたらしい。そしたらみんな「おいしい」と、もつと送って……と。少しでも多くの人が良さを知ってくれ、米を食べてくれたらとてもうれしいですヨネ。

(70代)

二、三年前から家庭菜園を始めました。何もわからず、人に聞いたり農協の人に聞いたり、本で勉強したりで営農情報とかとても参考になります。クイズも楽しみにしています。

(60代)

私も少々花づくりをしています。又、今年玉ねぎが出来収穫です。始めたころは隣の人に聞いて見習いで何とか人に喜ばれるものもできるようにになりました。辛抱に辛抱、努力、諦めない事と思っております。

(70代)

梅の里のページを見て思ったこと、昨年五倍酢で漬けた減塩梅干しと土用干しの時にさっと洗って干し、その後、紫蘇と合わせた真っ赤で見た目も美しい梅干しをいただきました。今年挑戦します。

(60代)

いつも楽しく拝見しています。特に料理レシピページを楽しみにしています！もちピッツアめっちゃ美味しそうです。絶対作ってみます。これからも楽しみにしています。

(30代)

J A福井県になり報道されることも多くなり、ふくふるで活動が掲載されるにつれ動き出したなあと感じます。また農業の後継者不足が課題となっている中、若い農業従事者の新しい取り組みが掲載されると、頼もしく感じます。

(60代)

毎月クイズを解くのが私の役目になっています。楽しんで頭をフル回転しながらの作業はいい脳トレになって解けた時にはとてもスッキリします。これからも楽しみにしています。

(50代)

若い人たちががんばっていることが励みとなりました。暗い話題が多い中、沢山の魅力ある記事に目からうろこでした。農業の未来が明るく感じ始めました！ありがとうございます。

(60代)

クイズに答えて JA福井県の特産品をゲット!!

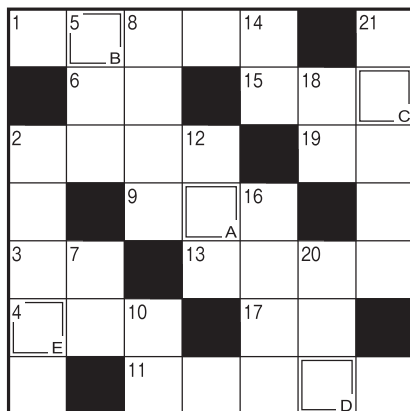


丹生基幹支店より
新ちゃんみそ
大豆のお菓子
詰め合わせセット



クイズ正解者の中から
抽選で15名様

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



→ ヨコのカギ

- 最低気温が25度以上の夜のこと
- 寺子屋では字の——やそろばんを教えました
- 地球の中心部にあります
- 長良川で有名な伝統漁法
- 親戚の——を頼って仕事に就いた
- 高速道路のサービス——で一休みした
- 親潮は千島——とも呼ばれます
- 帰る客を玄関まで——に行ったら
- 力士が腰に締めます
- 割、分、厘の次
- 虫が入ってこないように布団の周りにつるします

↓ タテのカギ

- 鉾石を高温でドロドロにする装置。高炉とも呼ばれます
- 川や池の土手のこと
- 信号機で「止まれ」を示す色
- 家屋を壊して新しく造り直すこと
- 墨も料理に利用する魚介
- 大きな魚はこの形でパック詰めされていることが多い
- 令和3年の——の日は8月8日。国民の祝日です
- ねぶた祭で知られる県
- 「五七五七七」などの形式で作られます
- 飛行機で人や荷物を運ぶこと
- 井戸端会議中に楽しむもの

応募方法

下記の必要事項をご記入いただき、ハガキまたはEメールにてご応募ください。

- パズルの答え
- 郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号
※記入もれが多数あります。必ずご記入ください。
- 今月号の感想など

《ハガキ》
〒910-0005 福井市大手3丁目2番18号
JA福井県 トータルサポート推進課
《メール》
fuku-full@ja-fukuiken.or.jp
QRコードからでもご応募できます→



〈7月号の答え〉サンダル



応募締切 8月20日(金)

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※読者の皆様からいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用しません。

福井米を
しっかり
守ります

実りの秋！収穫の秋！美味しい福井米はJAへ

お米の
出荷は
全量
JAへ



福井県JAグループ・福井県農業再編対策推進本部

ふくふる

2021.08 No.016

【発行】福井県農業協同組合 【編集】総務部トータルサポート推進課 【TEL】0776-50-7601 【FAX】0776-50-7602 <https://www.ja-fukuiken.or.jp/>

【編集・制作・印刷】ジェイエプリント(株) 〒910-0842 福井市開発5丁目204番地 TEL/0776-54-7105 FAX/0776-54-7543 <http://www.japrint.co.jp/>